

新たな観光産業に期待する

白鷹町観光交流推進計画の策定について説明を受けた。

【計画策定の趣旨】

アフターコロナの観光業においては、大型バスでの団体旅行からマイカーを利用しての個人旅行に主流が変わるといった、旅行マインドの変化が見られることから、観光行政の在り方や計画の方向性を見直す必要が生じている。

このような社会情勢の変化を捉え、白鷹町の豊かな自然と長年にわたり育まれてきた豊富な観光資源を活かし、白鷹ならではの魅力を磨き上げ、更なる観光の振興、交流人口の拡大を図るため、白鷹町観光交流推進計画の策定を行う。

【計画期間】

令和7年度から令和11年度まで（5年間）

質疑

観光の情報発信

【委員】観光情報を一元化したプラットフォームの整備について、専門的な知識が必要になると思うが、外部委託を行うのか。

【当局】情報発信は重要なポイント。情報一元化については、できることから取り組んでいく。シーズン毎に一元化に取り組み、最終的にまとまったものにしていきたい。

【委員】観光資源に関する調査や実証実験などは行うのか。



日本一の紅もち

【当局】ウェルネスツーリズムを推進していく中で、どのような方がどのようなコンテンツを求めているかなど、市場調査を行ったうえで、効果的な情報発信に取り組んでいきたい。

【改定の目的】

平成29年度に策定した「白鷹町水道事業経営戦略」の策定から、6年が経過し、物価の高騰や人件費の上昇などの社会情勢の変化により厳しい経営環境となっている。

今後、施設や設備の更新期に入ることや、耐震化への対応、料金回収率の低下による経営の改善・健全化など多岐にわたる課題を踏まえて、経営基盤の強化に向けた経営戦略の改定を行う。

【基本方針】

将来にわたって、安心・安全な水を安定して供給していくことは水道事業の使命であり、

水道事業経営戦略を改定

白鷹町水道事業経営戦略の改定（案）について説明を受けた。

質疑

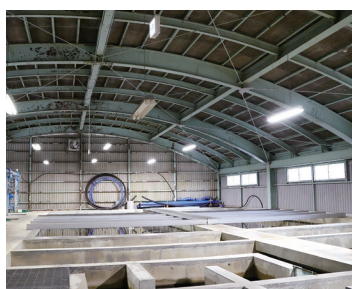
漏水対策

【委員】漏水対策が今後重要だと思うが、DXの導入などはあるか。

【当局】AIや人工衛星などを使った最新技術の導入について、関心を持って情報収集して

町民生活や産業活動に欠くことのできないライフラインであることを再認識し、水源保全や水質管理、施設等の老朽化や耐震化への対策、人口減少による施設等の縮小化に取り組み、持続可能な経営基盤の確立を目指す。

また、近年激甚化・頻発化している災害対策の充実・強化を図る。



施設の耐震化も急げ

いる。人工衛星を活用した取り組みは、県内で、山形市、天童市、寒河江市等で行われており、その結果、調査期間が短くなったが、精度が1割から4割程度という状況であるため、引き続き情報収集に努めていきたい。

その他
○白鷹町住生活基本計画の策定について
○町道路線の認定及び廃止について（現地調査）説明があった。